

# KHJ秋田ばっけの会便り



KHJ秋田ばっけの会 会報No.85 (2022年10月号)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

## 第75回「集い」10月8日(土)

18名の参加で行われました。初参加のご家族の他、国際教養大学のT准教授とポルトガル出身の大学院生Fさんが参加くださいました。

初めに事務局からこの1カ月の動きなどを報告した後、いつものように自己紹介も兼ねながら参加の皆さんからのお話をお聞きしました(もちろん聞くだけでも、話したい時に話すのもOK、です)。

現在の状況とともに日常生活の中で気づいた小さな変化を話して下さった方が多かったのですが、その中で、久しぶりに参加されたKtさんから「ドクターとの出会いで親も救われ、本人も落ち着いてきたので、こうしてまた参加できた。」という嬉しいご報告がありました。

『たびだち』101号の「生活とお金」について①、どこかの自治体での条例制定のこと②などの話題提供もあり、真剣な意見が出されました。また、今回の「集い」でもK家の状況報告がありましたが、最近、親の体調の変化が話題になって来ています。いつも参加されているご家族Omさんからも「夫が入院して・・・」とのメールがありました。(①とも関連します。)家族間での会話、「ありがとう」と言おう、暮らしの中の小さな変化やアクション、特効薬はないが最適解を、などなど出されました。「いろいろな方向からいろいろな人の意見を聴くことでちがった捉え方ができる」というStさんの「鳥海山も見る方向が違ふと見え方が違ふ」という喩えが印象的でした。皆さんも、ぜひ参加していろいろなお話を聴き、違った景色を見てみませんか。

## 「居場所」(第64回)10月15日(土)

9名の参加でした。国際教養大学大学院生のFさんが今回も参加です。

いつものように、それぞれ思い付くままの話題に、互いに意見を出し合いました。特にFさんの参加を受けて、語彙の確認と説明(英語で何と言うんだっけ?)に始まり、難解な語彙が次々とでした。(内省)〈我が儘〉〈空気を読む〉〈暗黙の了解〉〈恥(の文化)〉〈SDGs〉〈ネット依存〉・・・。人類史から政治や世界にも目を向け、さらに今後のこととして「誰一人取り残さないデジタル社会」も話題になりました。「お金」についてここでも話題になり意見が出されました。今回は、いつも静かに話を聴いているKnさんが積極的にたくさん話し、嬉しい時間でした。



◆◆◆◆◆上記①②についての情報です。※『たびだち』や資料は“ばっけの会”事務局にあります。

### ① KHJジャーナル『たびだち』101号(2022年5月) 特集「生活とお金」

#### ■覚悟がある人はうまくいく～お金のプロ畑中雅子先生に聞いてみた～

「家族会では、親の子どもへの接し方、向き合い方の学習を中心に行うが、ライフプランと親子関係の回復は車の両輪と考えて、なるべく早くお金のことは考えたほうがいい」

#### ■座談会「8050お金と生活」

「社会保障制度の知識を得て、支援者につながっておくことが大切」

### ② 神奈川県大和市『こもりびと支援条例』

大和市では、ひきこもり状態にある人を「こもりびと」と称して相談窓口を設置しています。今回制定された条例は、2022年9月27日から施行されています。ひきこもりはふとしたきっかけで誰にでも起こり得ること、周囲の理解が大切であること等を明示し、市の責務や市民及び関係機関の役割を明確にしています。『こもりびと支援窓口リーフレット』と『こもりびと支援ハンドブック』も作成されています。

○ KHJでは、『ひきこもり基本法』の検討と推進を進めています。併せて「こもりびと給付金」のような制度があったらということも検討しているようです。ひきこもり者の状態も、社会の認識や考え方も様々な中で更なる議論が必要のようです。自分事として皆で考えていきたいです。

## 秋田ばっけの会 2022年11月の予定

### ●第76回「集い」

日時；2022年11月12日（土）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センター3階 洋室2・3

### ●本人の会「居場所」

日時；2022年11月19日（土）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センター3階 和室1・2

●運営ミーティングは随時行います。参加ご希望の方はご連絡下さい。



## 《 報 告 ・ 情 報 ・ 紹 介 》

★ 秋田県健康福祉部障害福祉課課長樋口様と同課の進藤様とお話する機会をいただき、10月12日、事務局が県庁を訪問し、“KHJ秋田ばっけの会”の活動を中心にじっくりお話させていただきました。どんな施策に取り組んだら良いか、状況を知りヒントを得たいというお考えのようでした。今後もこのような機会を持ち、「ひきこもり者」についての理解を深めていただきたいと思います。

★ 9月の“NPO法人蜘蛛の糸”『孤独・孤立セミナー』で報告させていただいたご縁で、秋田大学大学院心理教育実践コース教授の北島正人先生（公認心理士・臨床心理士）のご講義を10月も拝聴させていただきました。今回は「大人のひきこもりと家族支援」というテーマでした。一生の各段階における特徴、親と子の関係などのお話で、最後に、親と子を責めないサポートについて話されました。いろいろな視点から考えることの大切さを改めて実感しました。後半は、“きららホールディングス”秋山裕美子氏の「生活困窮者就労準備支援事例」をお聞きしました。制度や支援が整って来ています。皆さまぜひ一人でも多く一步を踏み出してほしいと思います。

★ “KHJいわて石わりの会”から会報第30号（2022年10月）が届いています。“石わりの会”では、これまでの個別相談を今年度からグループ相談会として、6月に行ったとのこと。「最近の良かったこと」から話し合いが始まったとのこと、私たちが参考してみたいテーマです。

※新型コロナウイルスの状況によっては、「集い」「居場所」を中止せざるを得ないことがあります。参加を考慮される方は、事前に事務局にお問い合わせ下さい。

※通院などで事務局不在の場合もありますので、ご連絡やお問い合わせは、できればE-mailか携帯電話のSMSをお願いします。

※E-mailアドレスを登録または携帯電話の番号をお知らせいただければ、本部からの急なご案内や事務局からの緊急の連絡などがしやすくなります。ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。ご協力よろしくお願いします。

ご連絡・お問い合わせ・ご希望は下記アドレスへどうぞ。

KHJ秋田ばっけの会事務局 ; 090-9539-2365  
khjakitabakke@gmail.com

♥感謝 ・ 秋田市のKt様、Fy様から会費を、秋田市のKs様、大仙市のIt様から切手を、「集い」に参加の皆さまからカンパをいただきました。「集い」では、参加のご家族の方々から『たびだち』を購入いただきました  
・ 電話やメールなどでの連絡、お問い合わせやご相談もたくさんありました。

★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。

\* 切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。

\* 送金は、北都銀行 檜山支店（名義）KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘  
（店番）015 （口座番号）8108428